



平成22年11月期 第2四半期決算短信

平成22年6月30日

上場取引所 大

上場会社名 テクノアルファ株式会社  
 コード番号 3089 URL <http://www.technoalpha.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 マネージャー  
 四半期報告書提出予定日 平成22年7月14日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 松村勝正  
 (氏名) 安積良典

TEL 03-3492-7421

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年11月期第2四半期の連結業績(平成21年12月1日～平成22年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年11月期第2四半期	1,388	145.4	144	—	186	—	89	—
21年11月期第2四半期	565	—	△82	—	△25	—	△29	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年11月期第2四半期	7,854.62	—
21年11月期第2四半期	△2,560.13	—

(注) 1. 平成21年11月期第2四半期の前年同四半期増減率については、当社は平成21年11月期第2四半期より連結財務諸表の作成を開始したため、記載していません。  
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年11月期第2四半期	2,018	1,468	72.7	129,061.29
21年11月期	1,942	1,421	73.2	124,900.14

(参考) 自己資本 22年11月期第2四半期 1,468百万円 21年11月期 1,421百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年11月期	—	—	—	4,000.00	4,000.00
22年11月期	—	—	—	—	—
22年11月期(予想)	—	—	—	4,000.00	4,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年11月期の連結業績予想(平成21年12月1日～平成22年11月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,810	57.0	242	712.6	253	406.8	151	422.0	13,218.18

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 無  
 ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |              |         |              |         |
|----------------------|--------------|---------|--------------|---------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年11月期第2四半期 | 11,580株 | 21年11月期      | 11,580株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年11月期第2四半期 | 200株    | 21年11月期      | 200株    |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年11月期第2四半期 | 11,380株 | 21年11月期第2四半期 | 11,487株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本四半期決算短信に記載の連結業績予想は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の連結業績は、今後様々な要因により、本連結業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があります。

**【定性的情報・財務諸表等】**

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、第1四半期連結会計期間より引き続き、前連結会計年度の景気停滞から一転して、自動車メーカー、その関連メーカー及び半導体メーカー等の工場の稼働率が向上し、新規の設備投資も始まる傾向にあり、大きく回復してまいりました。

その結果、第2四半期連結累計期間における売上高は1,388,621千円（前年同四半期比145.4%増）、営業利益は144,434千円（前年同四半期は82,282千円の営業損失）、経常利益は186,540千円（前年同四半期は25,256千円の経常損失）、四半期純利益は89,385千円（前年同四半期は29,409千円の四半期純損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①半導体装置事業

当事業においては、当社の主力商品であるワイヤボンダーに代表される半導体製造装置やそれに付随する消耗品等を米国より仕入れ、当社が搬送装置等の付加価値を加えるなどした上で、国内の顧客に販売しております。当第2四半期連結会計期間においては、前連結会計年度から続く顧客の工場の稼働率向上による消耗品の販売が好調でした。また、顧客の新規設備投資による半導体製造装置の販売も大きく進みました。

この結果、売上高は760,950千円、営業利益は191,614千円となりました。

## ②電子材料・機器事業

当事業においては、エレクトロニクスメーカー向けの材料、大学・研究所向けの研究開発用の小型の機器等を国内外から仕入れ、販売しております。当第2四半期連結会計期間においては、顧客の業績の回復に伴い、受注面で回復がみられました。

この結果、売上高は419,842千円、営業利益は5,484千円となりました。

## ③マリン・環境機器事業

当事業においては、マリン事業では、大型船舶向けの救命艇を国内メーカーより仕入れ、造船所に販売、ならびに環境機器事業では、液体の濃縮・分離を行うためのフィルター等を海外より仕入れ、エンジニアリングを行った上で国内の顧客に販売しております。当第2四半期連結会計期間において、マリン事業では、早期に受注がなされており、売上、利益面では予定通りに推移いたしました。また、環境機器事業においては、前連結会計年度より販売活動に注力したため、新規に受注した案件が大幅に増加し、売上、売上総利益では好調に推移したものの、人件費等の販売費及び一般管理費が予定よりも多く発生いたしました。

この結果、売上高は200,233千円、営業損失は3,177千円となりました。

## ④その他の事業

当事業においては、上記3事業で取り扱いのない商品を販売し、また、新規の商品の開発を行っております。

この結果、売上高は7,595千円、営業損失は723千円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,018,861千円（前連結会計年度末比3.9%増）となりました。これは主に、現金及び預金、売掛金の増加があった一方で、有価証券、商品の減少があったためであります。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,468,717千円（前連結会計年度末比3.3%増）となりました。これは主に、四半期純利益が計上されましたが、配当金の支払いがあったためであります。

### (自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は72.7%（前連結会計年度末比0.4ポイント減）となりました。

### (1株当たり純資産額)

当第2四半期連結会計期間末における1株当たり純資産額は129,061円29銭（前連結会計年度末比4,161円14銭の増加）となりました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、681,075千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、49,369千円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益151,699千円、売上債権の増加額216,409千円、たな卸資産の減少額106,641千円、仕入債務の増加額30,453千円及び法人税等の支払額26,858千円によるものであります。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、8,797千円の支出となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出51,896千円及び保険積立金の解約による収入39,782千円によるものであります。

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、70,661千円の支出となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出25,030千円及び配当金の支払額45,174千円によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

### (1)連結業績予想

平成22年1月14日付決算短信に記載のとおりであります。

### (2)個別業績予想

平成22年1月14日付決算短信に記載のとおりであります。

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。
  
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。
  
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	581,095	404,985
受取手形	107,139	39,756
売掛金	590,977	442,108
有価証券	159,980	359,849
商品	293,895	400,537
その他	40,003	82,255
貸倒引当金	△118	△86
流動資産合計	1,772,972	1,729,405
固定資産		
有形固定資産	18,112	21,339
無形固定資産		
のれん	6,893	7,754
その他	17,899	16,719
無形固定資産合計	24,792	24,474
投資その他の資産		
その他	203,545	167,634
貸倒引当金	△562	—
投資その他の資産合計	202,983	167,634
固定資産合計	245,888	213,448
資産合計	2,018,861	1,942,853
負債の部		
流動負債		
買掛金	262,075	255,185
1年内返済予定の長期借入金	—	25,030
未払法人税等	64,676	26,626
その他	67,347	57,948
流動負債合計	394,099	364,790
固定負債		
退職給付引当金	3,334	2,134
役員退職慰労引当金	149,450	150,829
その他	3,259	3,736
固定負債合計	156,044	156,699
負債合計	550,143	521,489

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,210	100,210
資本剰余金	119,606	119,606
利益剰余金	1,274,676	1,230,810
自己株式	△23,848	△23,848
株主資本合計	1,470,643	1,426,778
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,753	△3,546
繰延ヘッジ損益	827	△1,867
評価・換算差額等合計	△1,926	△5,414
純資産合計	1,468,717	1,421,363
負債純資産合計	2,018,861	1,942,853

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年5月31日)
売上高	565,761	1,388,621
売上原価	398,717	948,463
売上総利益	167,044	440,157
販売費及び一般管理費	249,326	295,723
営業利益又は営業損失(△)	△82,282	144,434
営業外収益		
受取利息	2,626	4,204
受取配当金	27	200
保険返戻金	49,204	31,301
為替差益	5,443	6,562
その他	0	177
営業外収益合計	57,301	42,444
営業外費用		
支払利息	44	237
投資有価証券売却損	—	95
支払手数料	231	—
その他	—	5
営業外費用合計	275	338
経常利益又は経常損失(△)	△25,256	186,540
特別損失		
固定資産除却損	—	43
役員退職慰労金	—	34,798
特別損失合計	—	34,841
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△25,256	151,699
法人税、住民税及び事業税	471	65,642
法人税等調整額	3,682	△3,328
法人税等合計	4,153	62,313
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,409	89,385



【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
売上高	339,036	844,230
売上原価	247,426	598,088
売上総利益	91,609	246,141
販売費及び一般管理費	112,519	144,301
営業利益又は営業損失(△)	△20,909	101,840
営業外収益		
受取利息	2,113	2,363
受取配当金	1	120
保険返戻金	3,200	—
為替差益	5,092	159
その他	0	99
営業外収益合計	10,408	2,741
営業外費用		
支払利息	30	103
支払手数料	231	—
営業外費用合計	261	103
経常利益又は経常損失(△)	△10,762	104,478
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△10,762	104,478
法人税、住民税及び事業税	236	51,544
法人税等調整額	△200	△7,310
法人税等合計	35	44,233
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10,797	60,244

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△25,256	151,699
減価償却費	6,034	6,762
のれん償却額	—	861
貸倒引当金の増減額(△は減少)	684	595
受取利息及び受取配当金	△2,653	△4,404
支払利息	44	237
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	—	95
固定資産除却損	—	43
保険戻戻金	△49,204	△31,301
為替差損益(△は益)	△3,656	△6,078
売上債権の増減額(△は増加)	784,202	△216,409
たな卸資産の増減額(△は増加)	27,681	106,641
仕入債務の増減額(△は減少)	△341,685	30,453
未払金の増減額(△は減少)	△48,262	739
未払消費税等の増減額(△は減少)	△8,033	12,768
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△138	1,200
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,037	△1,378
その他の資産の増減額(△は増加)	32,260	22,913
その他の負債の増減額(△は減少)	1,595	△3,501
小計	380,651	71,936
利息及び配当金の受取額	1,574	4,536
利息の支払額	△44	△244
法人税等の支払額	△111,599	△26,858
営業活動によるキャッシュ・フロー	270,582	49,369
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△100,000	△10,000
有価証券の売却及び償還による収入	—	10,000
有形固定資産の取得による支出	—	△3,724
無形固定資産の取得による支出	△5,910	△3,500
投資有価証券の取得による支出	△23,674	△51,896
投資有価証券の売却及び償還による収入	19,566	10,793
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	131,612	—
貸付金の回収による収入	596	265
敷金の差入による支出	△440	△320
敷金の回収による収入	970	544
保険積立金の積立による支出	—	△743
保険積立金の解約による収入	84,782	39,782
投資活動によるキャッシュ・フロー	107,502	△8,797
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△25,030
自己株式の取得による支出	△23,848	—
配当金の支払額	△45,861	△45,174
リース債務の返済による支出	—	△457
財務活動によるキャッシュ・フロー	△69,710	△70,661

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年5月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	744	6,290
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	309,120	△23,798
現金及び現金同等物の期首残高	659,360	704,874
現金及び現金同等物の四半期末残高	968,480	681,075

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日）

当社は、当第2四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しておりますが、子会社のみなし取得日を当第2四半期連結会計期間の末日とし、当第2四半期連結会計期間においては、子会社の四半期貸借対照表のみを連結し、四半期損益計算書は連結していないため、記載を省略しております。

当第2四半期連結会計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日）

	半導体装置 事業 (千円)	電子材料・ 機器事業 (千円)	マリン・環 境機器事業 (千円)	その他の事 業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	513,098	213,710	116,903	517	844,230	—	844,230
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—
計	513,098	213,710	116,903	517	844,230	—	844,230
営業利益又は営業損失 (△)	124,454	3,261	△417	△1,108	126,190	(24,349)	101,840

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

(1) 半導体装置事業……………ワイヤボンダー、搬送装置、検査装置、消耗品等

(2) 電子材料・機器事業……………接着剤、消耗品、ボンドテスター、温度モニターシステム、ダイボンダー、プラズマ処理装置、ヒートシールコネクタ、偏光板等

(3) マリン・環境機器事業…救命艇、振動膜式フィルター等

(4) その他の事業……………半導体基板の洗浄に用いる液体等

前第2四半期連結累計期間(自平成20年12月1日至平成21年5月31日)

当社は、当第2四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しておりますが、子会社のみなし取得日を当第2四半期連結会計期間の末日とし、当第2四半期連結会計期間においては、子会社の四半期貸借対照表のみを連結し、四半期損益計算書は連結していないため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年12月1日至平成22年5月31日)

	半導体装置事業 (千円)	電子材料・機器事業 (千円)	マリン・環境機器事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	760,950	419,842	200,233	7,595	1,388,621	—	1,388,621
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—
計	760,950	419,842	200,233	7,595	1,388,621	—	1,388,621
営業利益又は営業損失 (△)	191,614	5,484	△3,177	△723	193,197	(48,763)	144,434

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

- (1) 半導体装置事業……………ワイヤボンダー、搬送装置、検査装置、消耗品等
- (2) 電子材料・機器事業………接着剤、消耗品、ボンドテスター、温度モニターシステム、ダイボンダー、プラズマ処理装置、ヒートシールコネクタ、偏光板等
- (3) マリン・環境機器事業…救命艇、振動膜式フィルター等
- (4) その他の事業……………半導体基板の洗浄に用いる液体等

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年3月1日至平成21年5月31日)

当社は、当第2四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しておりますが、子会社のみなし取得日を当第2四半期連結会計期間の末日とし、当第2四半期連結会計期間においては、子会社の四半期貸借対照表のみを連結し、四半期損益計算書は連結していないため、記載を省略しております。

当第2四半期連結会計期間(自平成22年3月1日至平成22年5月31日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

前第2四半期連結累計期間(自平成20年12月1日至平成21年5月31日)

当社は、当第2四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しておりますが、子会社のみなし取得日を当第2四半期連結会計期間の末日とし、当第2四半期連結会計期間においては、子会社の四半期貸借対照表のみを連結し、四半期損益計算書は連結していないため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年12月1日至平成22年5月31日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日）

当社は、当第2四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しておりますが、子会社のみなし取得日を当第2四半期連結会計期間の末日とし、当第2四半期連結会計期間においては、子会社の四半期貸借対照表のみを連結し、四半期損益計算書は連結していないため、記載を省略しております。

当第2四半期連結会計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日）

	アジア	北米	欧州	南米	計
I 海外売上高（千円）	140,263	10,924	30,302	3,613	185,104
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	844,230
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	16.6	1.3	3.6	0.4	21.9

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・・・中国、台湾、韓国、シンガポール

(2) 北米・・・アメリカ

(3) 欧州・・・ドイツ、スペイン、フィンランド、フランス、スイス

(4) 南米・・・ブラジル

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年12月1日 至 平成21年5月31日）

当社は、当第2四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しておりますが、子会社のみなし取得日を当第2四半期連結会計期間の末日とし、当第2四半期連結会計期間においては、子会社の四半期貸借対照表のみを連結し、四半期損益計算書は連結していないため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年12月1日 至 平成22年5月31日）

	アジア	北米	欧州	南米	計
I 海外売上高（千円）	254,962	17,182	61,964	7,439	341,548
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	1,388,621
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	18.4	1.2	4.5	0.5	24.6

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・・・中国、台湾、韓国、シンガポール

(2) 北米・・・アメリカ

(3) 欧州・・・ドイツ、スペイン、フィンランド、フランス、スイス

(4) 南米・・・ブラジル

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。